

WORLD AIDS DAY 2019



厚生労働行政推進調査事業費 エイズ対策政策研究事業
「2020年五輪大会に向けた東京都内のHIV・性感染症対策に関する研究」班

公開シンポジウム

The path to ending AIDS: Mobilizing the city for Tokyo 2020

日時

2019年12月2日(月)

参加無料

15:00 ▶ 17:15

定員200名

会場

大村進・美枝子記念 聖路加国際大学臨床学術センターB1
日野原ホール

国連合同エイズ計画(UNAIDS)は、2030年までの「エイズの脅威の終結」を目指し、2020年までの目標としてケアカスケード「90-90-90」達成を掲げてきました。また、UNAIDSはケアカスケード推進のために“Fast Track Cities”という包括的な都市の取り組みを積極的に支援しています。2020年は東京五輪が開催される特別な年で、世界中の視線が東京に集まります。「90-90-90」を東京および日本で達成するためにすべきことは何か、五輪対策で得られるレガシーは何か、多くの皆様と考えたいと思っております。ご来場をお待ちしております。

プログラム

挨拶：福井 次矢
遠藤弘良

(聖路加国際大学, 学長)
(聖路加国際大学, 公衆衛生学研究科長)

演者：Stuart Gilmour
大塚梨沙

(聖路加国際大学, 生物統計学・生物情報科学教授)
(聖路加国際大学, 公衆衛生大学院)

Eleanor Gouws-Williams
田沼順子

(UNAIDS, Fast-Track Implementation Department, Senior Advisor)
(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター医療情報室長)

パネルディスカッション・パネリスト：

岡慎一
白阪琢磨
松下修三

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センターセンター長)
(大阪医療センター臨床研究センターセンター長)
(日本エイズ学会理事長/熊本ヒトレトロウイルス学共同研究センター教授)

* 同時通訳有



右記ウェブサイトから
事前参加登録を
お願い致します。
開催当日に参加希望さ
れる場合、直接会場で
お申し出ください。



<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=rfmKb0dWY02rlduJRTcy919h8zzRUWxOk8bz1MjXcyFUOEZTVlhXWjM2UllkwVjNTVUtENkpXFBHNS4u>

お問合せ

国立研究開発法人国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター
mail: accevent-info@acc.ncgm.go.jp

主催：厚生労働省エイズ対策政策研究事業
「2020年五輪大会に向けた東京都内のHIV・性感染症対策に関する研究」班
協力： 聖路加国際大学・国連合同エイズ計画 (UNAIDS)